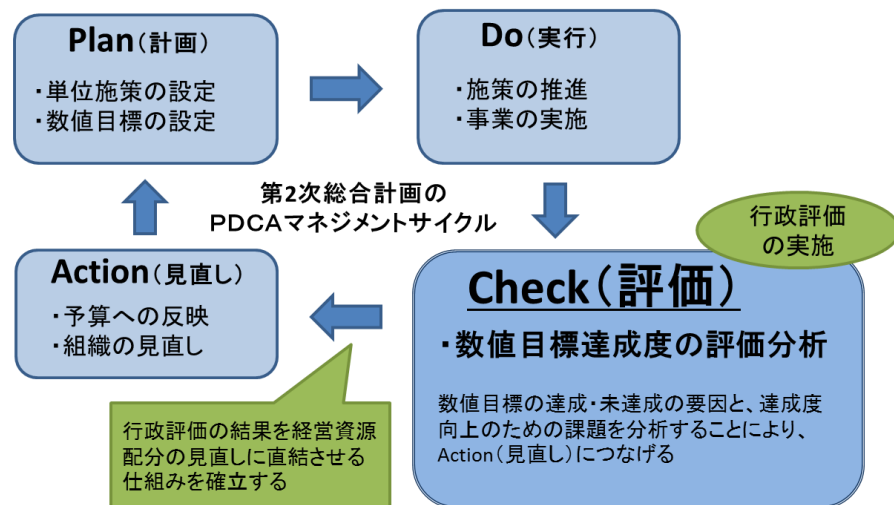


平成28年度行政評価（1次評価）の結果報告について

1 行政評価の目的・位置づけ

第2次唐津市総合計画に掲げたまちづくりの基本理念のもと、将来都市像の実現に向け、優先して実施すべき主要な施策を、基本計画で体系化している。

行政評価は、この基本計画に位置付けた各施策を着実に推進し、継続的な改善を図っていくためのチェック機能を担っており、数値目標達成度の評価分析等を通じて、次年度の予算や組織の見直しに活用することを目的とする。



2 評価の対象

第2次唐津市総合計画の基本計画における全106項目の単位施策

3 評価の内容

第2次唐津市総合計画の計画期間開始に合わせ、昨年度から行政評価の内容を見直しており、主に①数値目標達成度の確認・分析、②達成度向上のための課題の整理、③単位施策を構成する事業の優先度の確認を中心に評価を実施した。

なお、昨年度の行政評価では、全ての単位施策（106項目）を対象にヒアリングを実施したが、今年度は、特に数値目標達成度が低下したものや、人口減少対策として策定した「唐津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する単位施策など、計57項目をヒアリング対象とした。評価の手順は以下のとおり。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| (1) 所管課による行政評価調書の作成 | 4月上旬～5月中旬 |
| (2) 企画政策課によるヒアリング | 7月下旬～8月中旬 |
| (3) 行政評価調書の精査、数値目標達成度の集計 | 8月下旬～9月中旬 |
| (4) 評価結果を踏まえた次年度の対応案の作成 | 9月下旬 |

4 1次評価の結果

平成 27 年度における全指標の数値目標達成度の平均値は、26 年度と同じく **96.1%**であった。基本目標ごとの数値目標達成度の平均値は以下のとおり。

基本目標 1 快適な生活と安全・安心のまちづくり	94.5% ↓ (96.3%)
基本目標 2 全ての産業が調和して生き生き働けるまちづくり	105.1% ↑ (94.9%)
基本目標 3 生涯を通じてここちよく暮らせるまちづくり	92.4% ↑ (90.5%)
基本目標 4 生きる力に満ちた人をはぐくむまちづくり	98.4% ↑ (95.5%)
基本目標 5 歴史と文化が輝く観光のまちづくり	95.8% ↓ (104.0%)
基本目標 6 市民の力を最大限に引き出すまちづくり	83.4% ↓ (96.4%)

() 内は昨年度の平均値

全指標の数値目標達成度のほか、行政評価調書やヒアリングで確認した「単位施策推進にあたっての課題等」、さらにこれらの課題等を踏まえた「次年度の対応案」など、詳細は資料 1-1「平成 28 年度行政評価結果」にまとめている。

また、目標の達成状況が一目で分かるように、資料 1-2「第 2 次唐津市総合計画における数値目標達成状況」により、基本施策及び単位施策の達成度をレーダーチャートに示し、「見える化」を図っている。

5 評価実施における課題

(1) 数値目標達成度測定における精度の向上及び適切な目標値の設定

第 2 次唐津市総合計画の達成状況をより正確に把握するため、1 つの単位施策につき複数の指標を設定しているが、単位施策の内容によっては指標の設定が難しく、十分に達成状況を測定できていないものがある。

また、各指標の目標値は、あくまで行政側が設定した数値であり、必ずしも市民のニーズに合致していないものもあるため、目標値の設定にあたっては、妥当性を精査する必要がある。

(2) 「見える化」ツールの活用

行政評価結果を「見える化」することで、数値目標の達成状況を市民に分かりやすい形で公表し、説明責任を果たすとともに、単位施策全体の実施状況を俯瞰し、どの施策を重点的に進めていくべきかのプライオリティを決定する際のツールとするなど、有効な活用策を検討する。

(3) 外部委員による評価の実施

評価の客観性や信頼性を確保するため、行政内部だけでなく、関係団体や有識者、市民等の外部委員による評価を導入する。(議題 2)